



編集者 高橋 英一

法人本部・生活支援センター
〒314-0016
茨城県鹿嶋市国末1539-1
TEL 0299(82)6464
FAX 0299(83)3261

鹿島育成園 (児童寮及び育成寮)
〒311-2401
茨城県潮来市大賀438-4
TEL 0299(66)3439(代)
FAX 0299(66)3431

<http://www.kashima-ikuseien.com/>
mail:kaikusei@eagle.ocn.ne.jp

定価 100円

Kashimaikuseien



合同キャンプにて

事件報道への疑問

園長 高橋 英一

相模原市の知的障害施設での入居者殺傷事件、そして某有名女優の長男の強姦致傷を疑われた事件、共通してマスコミで取り上げていたのは「発達障害」という言葉でした。あたかも発達障害がある人は犯罪を起こすのだと言わんばかりに連日ニュースやワイドショーで繰り返し返し放送されました。これは明らかに差別と偏見ではないでしょうか。

この風潮は今始まった事では有りません。半世紀以上も前の事。静岡県島田市で幼女誘拐殺人死体遺棄事件が起きました。犯人とされたのは軽度の知的障害の有る赤堀政夫さんでした。当時ホームレス的な生活と精神病院への入院歴が有ったため目撃された犯人像とは全く違った赤堀さんを容疑者として逮捕・起訴し最高裁で死刑判決を受け確定し、死刑囚として逮捕以来34年8ヶ月刑務所(拘留所)での生活を余儀なくされました。赤堀さんとお兄さんの無実の訴えが支援する人達を動かし最終的に無実を勝ち取ったものの「○○だったらやりかねない」「△△が欲しい」という決めつけが無実の人を死に追い込んでしまふ恐ろしさ忘れてはならないと思います。

障害者施設で働いていた者の犯行は衝撃的でした。しかし「発達障害」とつなげて論じる事は止めてもらいたいと声を大にして言いたいと思います。

研修報告

「自閉症スペクトラム障害の理解と支援」の学習会に参加して

児童指導員 枝 典子

自閉症の人は注意されることで傷ついて、不満をためていくのがケースで見られるとの事です。欲求を満たされない、受けられないと感じると、自分を否定されてしまったと強く感じる様です。そのため、注意して見ている、その人をケアすることが大切です。特に子ども達は成長していく上で周囲との関係性が重視もされます。

学習会を終えて、子ども達に対する責任の重さを覚えました。子ども達の顔を思い浮かべながら、どこまで理解し、どれだけの事を自分がしてあげられるのかと考えました。いろいろと悩んではいましたが自分がそんなに完璧な人間でもない事に気付きました。それならば自分にできる事をしようと。笑顔とジョークでみんなが居心地良くいられるように。これを私の支援の在り方としていこうと思いました。

多機能型事業所

アイリス

事業所説明会(8/3)

生活支援員 小泉 惇

茨城県立鹿島特別支援学校で開催された事業所説明会に参加しました。ご参加頂いた保護者・生徒の方々にアイリスの特色をしっかりとお伝えできたのではないかと感じています。(とうふ工房のとうふと豆乳プレンの販売は行列が出来、有り難いことにすぐに完売となりました。)

清掃班グループ

この夏も除草作業・ハウスクリーニングの委託があり、作業に汗を流しました。



除草・ハウスクリーニングのご用命はアイリス 0299-64-2316 まで

児童寮

外出の思い出

児童寮 S・N

私が一番大変だったのはスカイツリーに行けなくてとてもくやしかったことです。一番楽しかったのは大好きなNEWSのライブの生じや真を見れたこととテゴマスの生じや真が見れたことです。また、みんなと一緒にいきたいです。今度はかれしと一緒にいきたいです。



育成寮

夏の思い出

生活支援員 高須 裕子

育成寮は八月七日から八月二十一日まで夏期帰省期間でした。帰省した利用者の方は「楽しかった」「ご馳走を食べて太っちゃった」など、笑顔で話してくれました。帰省のなかった方も、職員と一緒に近隣地域へ買い物や外食に出かけ、楽しめた様子でした。

八月末の合同キャンプには女子ホームから三人の利用者の方が参加しました。ダンスの特訓をして臨み、スタンツのリーダーとして活躍しました。



花火大会



バーベキュー大会



個別支援計画から

主任 矢部孝

Kさんは育成寮の施設入所と生活介護を利用しています。食事は、食堂で一緒に摂りますが、他の利用者との交流を避け活動班にはほぼ不参加。毎日の入浴は拒否、清拭のみの状況です。園内外の行事では誕生会には参加しますが、ゆうあいスポーツ大会や旅行、通院など「行く」と言っても当日行かなかったり、「行かない」と言っても当日「行く」と言い車に乗っては、その後居室内へ戻ったりと心の変化が激しい状況です。また夜間の外出や物を盗るといった問題行動もみられます。

日中活動の班では作業への参加を促していますが、なかなか首を縦に振ってくれません。根気強く声をかけをくり返していますが、作業に参加出来なくても職員が居室におやつを持っていきコミュニケーションを図るようにはしています。表情は少ない

ですが時々「うんうん」と声かけに頷いてくれます。

入浴に関しては、近隣の温浴施設に誘ったり、面会日に保護者の協力を得て一緒に入浴に出かけてもらったりしています。今年になって特浴室を利用することもあり、変化も見られます。ここ何年かで著しい体重増加や血圧の上昇が見られるようになり、生活習慣病が気になります。ますます日々の観察が必要になりました。口腔ケアも全く拒否的ではなく受け入れてくれる時もあり、「かかわりをもりたい」という気持ちもみられます。Kさんの気持ちの変化をくみとり、日々声かけ等を通して職員や他の利用者との関係維持に努めて行きたいと思えます。



ポプラ班の力作です

新卒採用担当より

主任 荒井俊光

今までは秋の採用時期になるとその対応・対策を行っていましたが、昨年度採用担当が業務の中で明確にされ今年度で2年目を迎えます。昨年度の反省を踏まえて多くの学生に福祉の魅力を伝えていこうと皆で試行錯誤しながら活動を行っています。その中で皆が最も苦手にしているのはプレゼンテーションです。福祉職員は基本的に自分の仕事に対し自己主張をしたり派手にアピールをしたりすることがなく、日々我慢強く真面目に仕事をやる傾向があると思われまます。それゆえに福祉の仕事が世間一般にきちんと理解されていないのではないかと感じます。実際に言っている事と行っている事が矛盾してはいけませんが、日々何気なく行っている事も根拠を示したり、それを理論的に説いたりするなど情報を適切に発信する事により福祉の仕事の魅力

を多くの方に伝える事が出来るのではないかと考えています。係りでは昨年度より皆進歩している様に感じられます。プレゼンテーション時の話し方は回数をおこなす事により上達すると思われまます、内容は私を始めもう少し時間が必要だと感じています。

私自身この福祉の仕事はまだまだ大きく変わる見込みがあると思っています。少子高齢化社会に伴い福祉のニーズはますます多様化し増えていく事は明白です。今後、増えたニーズにどのように応えていくか私達のやりがいにつながるのではないかと考えています。



子供の頃の夢

主任 中村厚志

子供の頃の夢は特になく、私の家は植木(盆栽)屋をやっていました。

小さいころは祖父母と一緒にいる事が多く祖父から太平洋戦争の話をよく聞かされてきました。その影響からか小学生の頃は太平洋戦争に関する本をよく読んでいた記憶があります。祖父は激戦地であった比島(フィリピン)で戦っていたそうです。

私が大学生の頃、祖父は体調を崩していましたが、比島戦友会に行きたいとの希望で滋賀と箱根で行われた戦友会に同行し、私も参加させてもらいました。比島での戦死者は50万人を超えていると言われてます。その戦火の中、生き残った方々は一見、どこにでもいるおじいちゃん達ですが、所々で耳にした戦争の内容は、つい最近の出来事のように鮮明なもので貴重な体験でした。

私の子供たちに、祖父の話をしたことがあります。まるで興味なく、他人事でした。終戦から71年が過ぎ、あの悲惨な戦争を知る人は年々少なくなっています。また、国内外では不穏な情勢が続いています。「歴史は繰り返される。」そうならぬことを切に願います。



2歳頃の私です

永い間お世話になりました

法人理事としてご活躍いただき有難うございました

- ・加藤節子 様
- ・高橋邦明 様



中根武夫 様 松友了 様
8/21 歓送迎会にて

新任職員紹介



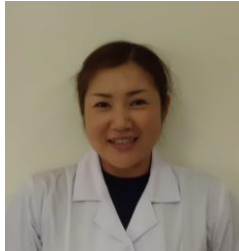
大内 ひろみ
育成寮
常に初心を忘れぬようにしてより良い支援ができるように頑張ります。



藤崎 君代
児童寮
児童寮勤務になりました。みなさんよろしくお願ひ致します。



渡辺 加代
看護師
今は仕事に慣れることで一杯一杯ですが早く「使えるスタッフ」になれるように頑張りますのでよろしくお願ひします



平山 智美
育成寮
覚える事がたくさんありますが早く仕事を覚えておしいい食事を作れるように頑張ります。



小川 れい子
育成寮
調理員の仕事は初めてなので戸惑う事がたくさんありますが一つ一つ順番に覚えていきたいと思ひます。

寄付・寄贈・招待

リスカ株式会社 様
一灯 様
(茨城県)

行事予定

- 9月
- 10日 アイリス パーベキュー
- 8日 障害者就業・生活支援センター 在職者交流会
- 9日 育児 一面会日
- 11月 育児 鹿養祭
- 5日 育児 収穫祭
- 13日 育児

2017
毎年好評のアイリスカレンダー
今年は卓上で
¥650
ご注文はアイリスまで
0299-64-2316

編集後記

私事だが夏は苦手である。それでも子ども達と一緒に汗だくになって、時には振り回されて過ごした。どんなに暑くても子ども達に元気を分けてもらって夏を乗り切れる。汗をかきわりには体重は減らないのだが。天高く馬肥ゆる時期が迫っている事に恐怖を覚える。
(松枝)